

【事業名】

新しい地域の 防災まちづくり推進

～地域と学校がコラボする
まちづくり手法の創造から
持続できるまちの形成へ～



【実施団体名】

虹の丘連合町内会
学校法人三島学園

■ 報告のレジюме

- 1 事業実施団体について
- 2 令和5年度の実施内容
- 3 実施した取組みの紹介
- 4 事業の成果と今後の展開
- 5 令和6年度事業の実施状況

1 事業実施団体について

事業実施団体の概要

虹の丘連合町内会

<団体の目的>

地区内の各町内会が連携し、地区全体の行事、その他自治会活動や連絡・調整を行い、住み良い環境づくりと地域の繫栄と向上に寄与する

<これまでの取組み>

以下の活動はコロナ禍になる前の活動。

- ①虹の丘・みずほ台夏祭り主催
- ②文化祭・コミュニティセンター祭の共催
- ③秋のスポーツレクリエーションの共催
- ④虹の丘新年祝賀会の主催
- ⑤指定避難所防災訓練の主催
- ⑥ボランティア活動の表彰
- ⑦交通安全・防犯運動・環境美化活動など

学校法人 三島学園

<団体の目的>

実学重視の教育を通じて地域文化の向上に寄与することを建学の精神とし、地域の生活に密着した人材の育成を使命として多くの有為な人材を世に送り出す

<これまでの取組み>

本学園は、以下の学校で構成し、2020年に創立120周年を迎えた。泉区虹の丘に大学・高校を移転後、隣接の青葉区双葉ヶ丘に拡張した。他に太白区向山に幼稚園・保育園あり。

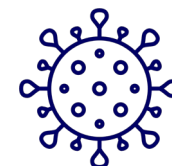
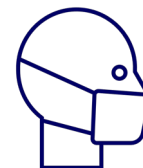
- ①東北生活文化大学
- ②東北生活文化大学短期大学部
- ③東北生活文化大学高等学校(以下「生文高」)

2 令和5年度の実施内容

(1) 課題

- 東日本大震災後の虹の丘地区の人口と老年人口比率は、右表の通りであり、**人口減少・超高齢化の進展**が著しい。
- また、コロナ禍の影響で最近3年間は町内会活動も制限され、地域内交流が不足しており、更に指定避難所の収容人数も3密回避で大幅に縮減状況になり、**防災活動が低調**となっています。
- 一方、**令和4年度**に実施した**防災に関するアンケート調査**結果から、**単身高齢世帯増加**や**自宅避難志向**が浮き彫りとなりました。今後も、特に近年自然災害が多く発生していることから、防災面での強化が求められています。
- これらの課題を解決する方法を探すために、**地域と近隣の学校(小・中・高・大)**が**協働**して試行的な交流活動・防災活動や学習活動などの実施、それらの効果を検証し、今後の新しいまちづくり活動計画を立てていくことが必要となっています。

	2011年10月	2022年10月
住基台帳人口(人)	3663	3415
老年人口比率(%)	35.05	44.92



防災に関するアンケート調査 報告書

目次	
1. はじめに	…P.1
1-1 調査の目的	…P.1
1-2 調査手法	…P.1
2. 調査結果	…P.2
2-1 調査結果の概要	…P.2
2-2 調査結果の詳細	…P.4

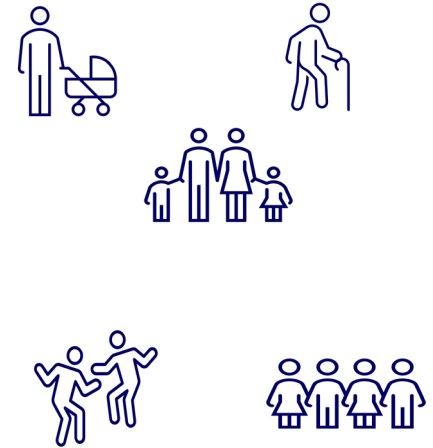
2022年(令和4年)12月

虹の丘連合町内会

2 令和5年度の実施内容※

(2) 事業の目的

- 「ウイズコロナにおいて虹の丘地区の誰もが安心して安全に暮らすことができ多世代が交流できるまちになる」(目標)
- 令和5年度は、上記目標を実現するための各種取組みを試行し検証を行い、継続して連携協力できるパートナー(学校)を導き出すことを目指します



※令和5年度は虹の丘連合町内会が単独で「課題調査検証」事業を実施しました



2 令和5年度の実施内容

(3) 令和5年度事業の目標と実績

防災関連学校連携事業

- ▶ 防災に関する川柳・標語コンテスト
生文高生徒の応募 → 目標：出来るだけ多くの応募
虹の丘小生徒の応募 → 目標：出来るだけ多くの応募
- ▶ 防災に関するポスターコンクール
生文高生徒の応募 → 目標：出来るだけ多くの応募

地域づくり関連
学校連携事業

- ▶ 初心者のためのスマホ教室
虹の丘地区住民の参加 → 目標：出来るだけ多くの参加
- ▶ 災害時における栄養管理を考える講座
虹の丘地区住民の参加 → 目標：出来るだけ多くの参加
- ・ 審査会よりアンケート調査必要との意見踏まえ各学校と協議の上実施
- ・ 審査会の意見を踏まえ各事業の実施に当たって感染症対応も含め関係機関や地域住民への説明と承諾を得ながら実施

2 実施内容と実施状況

(3) 令和5年度事業の目標と実績

防災関連学校連携事業

【東北生活文化大学高校】(生徒数969名)

- ①防災ポスターコンクール: 64名(64作品)
- 防災川柳コンクール : 34名(34作品)
- 防災標語コンクール : 17名(18作品)

【虹の丘小学校】(生徒数297名うち防災学習93名)

- ②防災標語作成 : 77名(77作品)

地域づくり関連学校連携事業

- ③初めてのスマートフォン講座 : 13名
- ④防災訓練(避難所運営訓練) : 53名
- ⑤健康づくり講座「災害時の食事」: 25名

まだまだ
住民の参加
が少ない

2 令和5年度の実施内容

(4) 事業の実施体制

氏名	団体における役職等	この事業における役割
三澤 吉雄	虹の丘連合町内会長	各取組みの主宰者
佐々木武弘	東北生活文化大学高校校長(以下校名「生文高」と略称)	生文高生徒に関連する取組み指導
佐藤美知子	虹の丘小学校校長	虹小生徒に関する指導
佐藤 芳治	宮城学院女子大准教授	事業実施顧問兼学生指導
岩崎 裕直	虹の丘連合町内会副会長	全体連絡調整

東北生活文化大学・高校
虹の丘小学校
宮城学院女子大学



虹の丘連合町内会
(関連団体含む)

防災・地域づくり関連学校連携事業及び広報事業

2 令和5年度の実施内容

(5) 事業スケジュールについて

月	事業実施内容
R5.4月	他団体と連携関係打合せ
5月	同上
6月	同上
7月	夏祭り
8月	初歩スマホ講座(宮学大)案内広報
9月	生文祭(9/2生文高ポスター審査), 初歩スマホ教室①
10月	生文高ポスター表彰, 生文高川柳・標語審査, 初歩スマホ講座②
11月	初歩スマホ教室③, 生文高川柳・標語表彰, 防災訓練(避難所運営訓練), 虹小防災学習
12月	虹小(防災標語作成)
R6.1月	健康づくり講座(東北生活文化大)
2月	事業総括報告
3月	R5年度事業報告・広報誌発行

(6) 使用経費について

事業費総額	36.1万円
・仙台市助成金	27.5万円
・団体自己資金	8.6万円

内訳

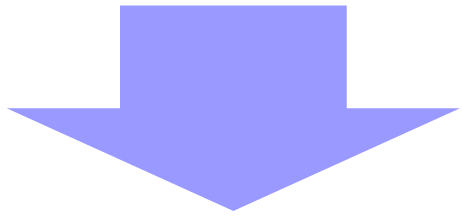
・人件費	5.8万円
・報償費	4.0万円
・交通費	1.6万円
・消耗品	13.0万円
・印刷費	4.3万円
・通信費	2.0万円
・その他	5.4万円

3 実施した取組みの紹介

(1) 防災関連学校連携事業

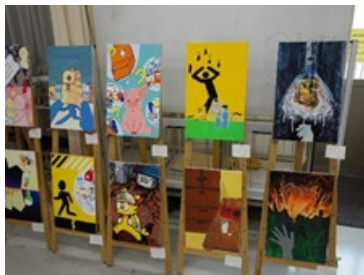
① 防災ポスター及び防災標語・川柳(生文高)

右上のような防災ポスター並びに防災標語・川柳について募集要項(案)を作成し、各学校(生文高、虹の丘小)と協議



生文高が協力して順次応募作品を提示
令和5年9月2日に虹の丘防災ポスター展開催
(応募64作品)と合わせコンクール実施

(展示状況写真)



SEIBUN ART

虹の丘防災ポスターコンクール 2023.9.2



(審査結果)



(生文祭ポスター)

〈虹の丘防災ポスター—優秀4作品(生文高)〉



↑ 最優秀賞
画題: 「防災番号171」



画題: 「確認しよう防災バッグ」
↓ 優秀賞



↑ 優秀賞 画題: 「防災グッズで守る街」



↑ 優秀賞
画題: 「未来のために」



防災標語・川柳について生文高が協力して応募(応募数：標語18作品・川柳34作品)
令和5年10月28日に虹の丘連合町内会において審査会を組織・開催し入選作品決定

(防災標語入選作品)


虹の丘防災標語

「新しい地域の防災まちづくり推進プロジェクト」

常日頃
避難経路の確認だ

まず避難！
みんなを助ける合言葉

前もって
避難経路の確認を



虹の丘連合町内会
協力：東北生活文化大学高等学校

(防災川柳入選作品)

虹の丘防災川柳

「新しい地域の防災まちづくり推進プロジェクト」

備えよう
自然災害
急にくる

普段から
散歩で確認
避難場所

非常食
早めの用意で
期限切れ

備えよう
大切なのは
心がけ

カップ麺
いざという時
何故か無い

虹の丘連合町内会
協力：東北生活文化大学高等学校

3 実施した取組みの紹介

(1) 防災関連学校連携事業

② 虹の丘小学校防災学習での防災標語作成

虹の丘小学校との協議により防災学習で標語を作成
学習の狙い：自分たちでできる防災・減災として防
災標語を作成し、地域の防災力向上に
貢献する

対象児童：5, 6年生児童**93**名(5年生32名, 6年生61名)



第1弾：令和5年11月27日(月)虹の丘小体育館にて
災害(東日本大震災)の体験談を聞く

講師：小野壱晴氏(高森小職員)講演…気仙沼で小4生時に被災

第2弾：防災標語の作成 (同年12月)

令和6年1月に防災標語**77**作品が虹の丘小から連合町内会に手渡され
各町内会で2～3月掲示版及びコミセンに掲示

(第1弾開催状況写真)



② 虹の丘小学校防災標語作品各町内会掲示状況



一丁目



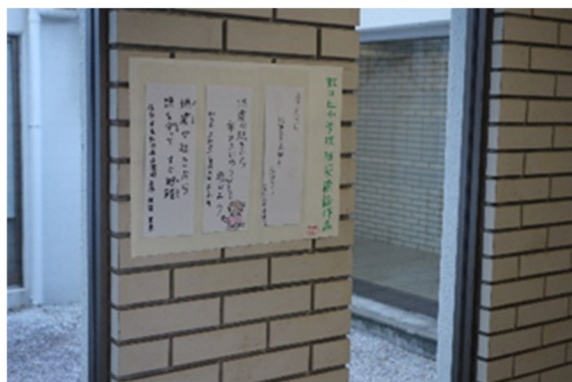
二丁目



三丁目



四丁目



パシフィックM



県営住宅



コミセン



3 実施した取組みの紹介

(2) 地域づくり関連学校連携事業

④ 防災訓練(避難所運営訓練)

実施日時：令和5年11月11日(土)10時～11時半

実施会場：虹の丘小学校体育館及び防災倉庫

訓練内容：備蓄品の点検や使い方等確認

参加者：住民53名

(実施状況写真)



3 実施した取組みの紹介

(2) 地域づくり関連学校連携事業

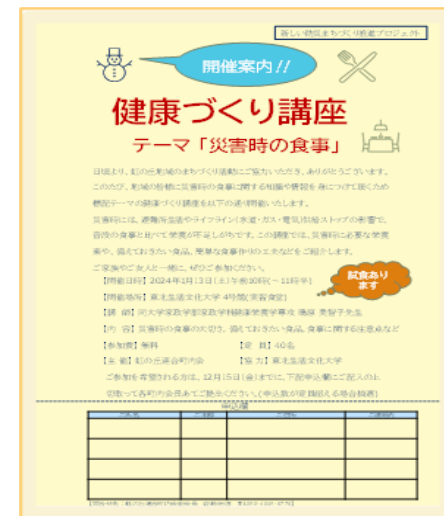
⑤ 健康づくり講座「災害時の食事」

右上のような開催チラシを印刷し全戸配布(21名応募)
東北生活文化大学家政学部家政学科健康栄養学専攻
嶋原美智子准教授が主宰(学生3名も協力)



令和6年1月13日(土)東北生活文化大学4号館にて
「災害時の食事」の講義及び試食(25名参加)
非常時給食の食品メーカー(株)SN食品研究所1名参加

(開催状況写真)



(参加者アンケートより)

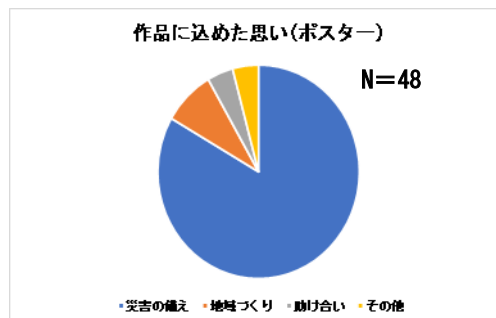
- ・ 今回のテーマは役に立ったと全員が回答
- ・ 講師の説明が分かりやすかったと9割以上
- ・ 今回の講座で重要と思うことは①非常食の備え②栄養バランス③調理方法の順
- ・ 自分の災害時への備えは、不十分と5割超
- ・ 今後もっと知りたい内容として、保存方法や栄養、次いで調理方法等を挙げた
- ・ 参加者の8割が女性、世帯構成では夫婦世帯が4割近くを占め、60歳代以上が9割超なお全員が東日本大震災体験者

4 実施結果及び成果

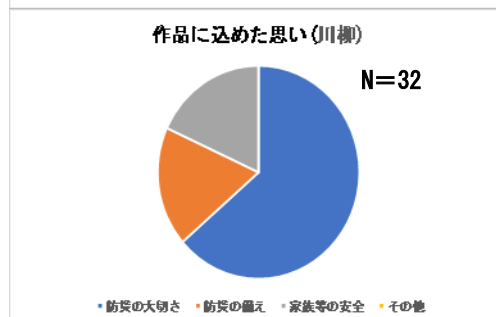
(1) 各種取組み参加者等アンケート結果

①防災関連学校連携事業応募者アンケート結果(生文高)

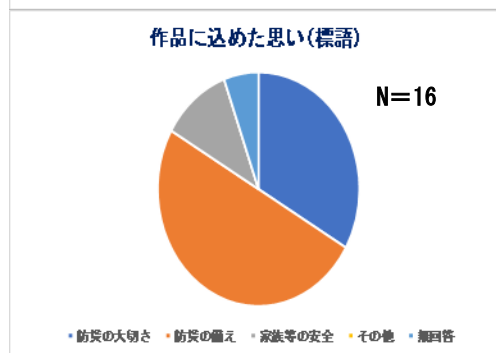
(防災ポスター応募者)



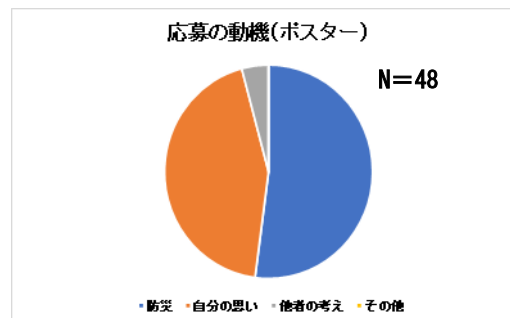
(防災川柳応募者)



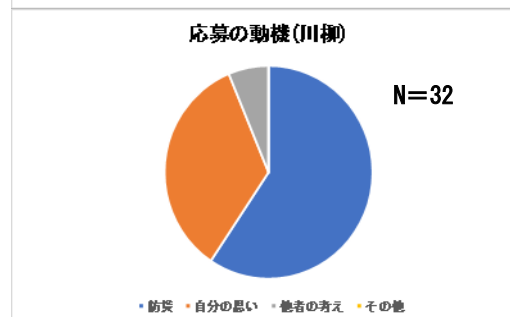
(防災標語応募者)



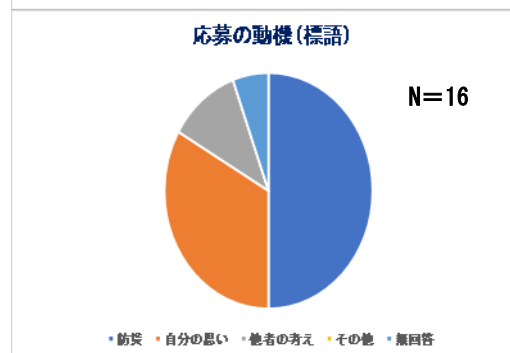
応募の動機(ポスター)



応募の動機(川柳)



応募の動機(標語)

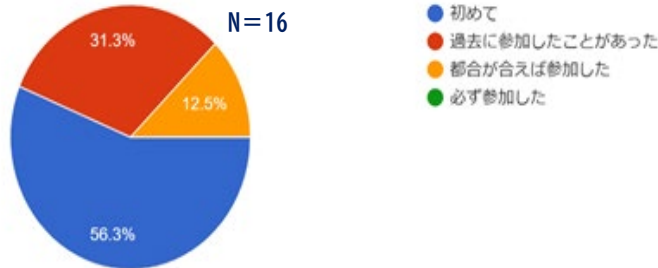


4 実施結果及び成果

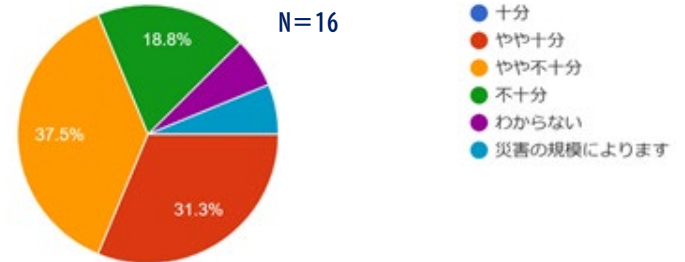
(1) 各種取組み参加者等アンケート結果

②地域づくり関連学校連携事業住民参加者アンケート結果

(防災訓練参加者) これまでに避難所運営訓練に参加したことがありますか？ N=16

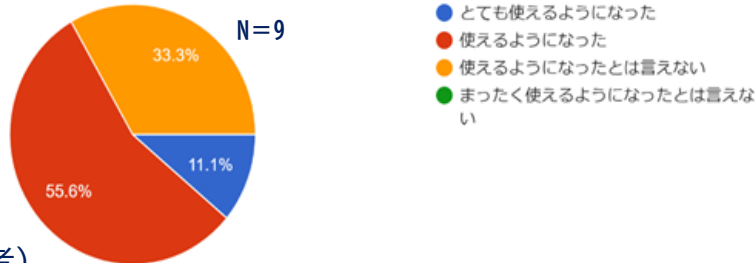


物資の量は十分でしたか？ N=16

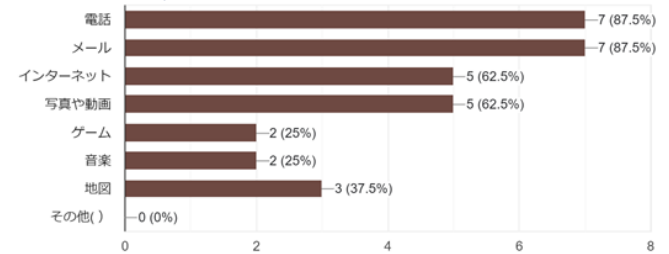


(初めてのスマートフォン講座参加者)

講座で学んだことで、スマートフォンをつかえるようになったと感じましたか？

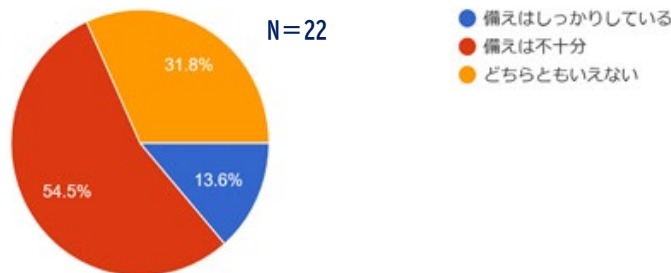


スマートフォンで利用したいサービスや機能は？ N=8

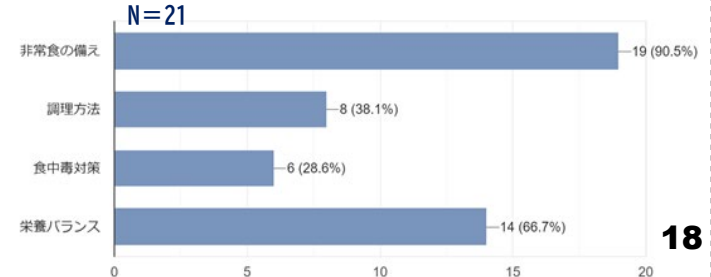


(健康づくり講座参加者)

あなたの災害に対する備えは？ N=22



この講座に参加してあなたが大事だと思ったことは？ N=21

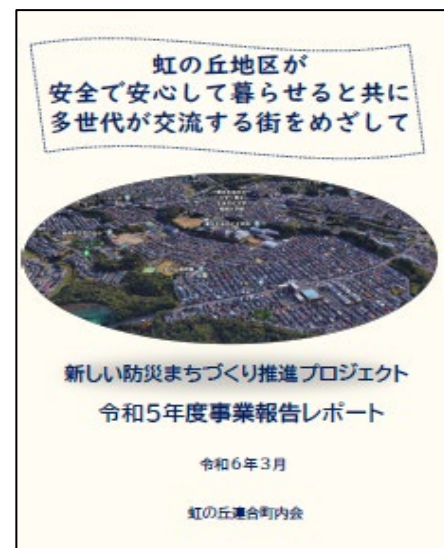


4 実施結果及び成果

(2) 今後の展開について

①令和5年度事業

令和6年2月下旬にこれらの取組み内容や結果について役員会に報告し、その後整理して**令和5年度事業報告レポート**(A4判8頁)を印刷発行し全戸配布した



②令和6年度について

令和6年度仙台市地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業【協働実践助成】に**学校法人 三島学園**と協働して応募し、令和6年1月16日に審査会が行われ、同年2月8日承認の結果が通知されたことから、基本的に令和5年度の取組みを令和6年度も継続していくことが可能となりました
なお、テーマを令和5年度では「新しい地域の防災まちづくり推進～地域と学校がコラボするまちづくり手法の創造～」としていましたが、令和6年度では「新しい地域の防災まちづくり推進～地域と学校がコラボするまちづくり手法の創造から持続できるまちの形成へ～」と補遺しています

5 令和6年度事業の実施状況について

令和6年度事業の実施状況について

① 健康づくり講座 「いざというときに備えよう、防災食」

日 時：令和6年8月24日(土)10時～11時半

会 場：東北生活文化大学 4号館

参加者：住民28名

講 師：嶋原美智子同大学准教授(内容右記参照)⇒

↓同大学生制作によるチラシ(全戸配布)&ポスター

①「二択クイズ」災害に直面した時の対応

②「アルファ化米でカレーピラフ」の作り方と試食

③「お湯につけるだけでナポリタン」の作り方と試食

- ・台所で夕飯の支度中に大地震が起きたら？
「自分の身を守る」or「まず火を消す」
- ・アルファ米に水を入れトマトケチャップとコーンとツナ&カレー粉でピラフ
- ・ジップロックにスパゲティと水を入れ鍋に入れ、余分な水を捨てケチャップとコーンとツナを加え和える

令和6年度
新しい地域の防災まちづくり推進プロジェクト第1弾!!

健康づくり講座

～いざというときに備えよう、防災食～

主催：虹の丘連合町内会
協力：東北生活文化大学
カゴメ株式会社 東北支店
日時：令和6年8月24日(土)
10:00～11:30
内容：トマト製品を使って、簡単な調理と試食を行います
場所：東北生活文化大学 4号館実習食堂

夏休みの思い出に、お子さんたちの参加もお待ちしております!!

【案内印刷協力：東北生活文化大学学生】
ご参加を希望される方は、7月17日(水)までに、下記申込欄にご記入の上
切取って各町内会長へご提出ください。(参加費無料、定員40名)
問合せ先：虹の丘連合町内会 副会長 岩崎まで(TEL.090-4049-8778)
*この事業は仙台市地域づくりパートナーシッププロジェクト推進員(成事委員)の協力を受けています
-----キリトリ線-----

お名前	性別 男・女	ご連絡先(TEL)	同伴者数 (ご家族の場合)

令和6年度新しい地域の防災まちづくり推進プロジェクト第1弾!!

虹の丘連合町内会主催

健康づくり講座

～いざというときに備えよう、防災食～

令和6年 8月24日 土
10:00 - 11:30

協力 東北生活文化大学
カゴメ株式会社 東北支店
内容 トマト製品を使った、簡単な調理と試食
場所 東北生活文化大学 4号館実習食堂

夏休みの思い出に、お子さんたちの参加もお待ちしております!!

【印刷協力：東北生活文化大学学生】
参加費無料、定員40名
全戸配布の開催案内チラシにより各町内会長宛申請ください



5 令和6年度事業の実施状況について

令和6年度事業の実施状況について

② 虹の丘防災ポスターコンクール

対象：東北生活文化大学高校
美術・デザイン学科1年生81名

作品：75作品

審査：同校文化祭「生文祭」(9/7)に展示と
同時審査(最優秀1優秀2入選6)

審査員：同学校長、同学科長、講師及び
連合会長ほか
審査結果は右記の通り⇒

なお、優秀作品は
各町内会掲示板に
掲示する予定



SEIBUN ART

虹の丘防災ポスターコンクール 2024

2024.9.7

最優秀賞	美術・デザイン科1年君澤 桜花さん(台原中出身)
優秀賞	美術・デザイン科1年三橋 ななみさん(広瀬中出身)
優秀賞	美術・デザイン科1年佐竹 美空さん(東豊中出身)
入選	美術・デザイン科1年岡崎 玄馬君(宮城野中出身) 美術・デザイン科1年熊谷 柔さん(館中出身) 美術・デザイン科1年西條 紅葉さん(住吉中出身) 美術・デザイン科1年佐竹 洸人君(雨中山中出身) 美術・デザイン科1年佐藤 ひまりさん(七ヶ浜中出身) 美術・デザイン科1年村山 心絆さん(台原中出身)

「虹の丘防災ポスターコンクール」に本校美術・デザイン科1学年81名が応募。高校の部において最優秀賞に美術・デザイン科1年君澤 桜花さんが選ばれました。虹の丘連合町内会主催のこの防災ポスターコンクールは地域の防災力を高める目的として開催。小学校低学年・高学年・高等学校と3つの部門で公募を実施。高校の部は「防災意識」に関する内容を中心に防災ポスターを制作しました。



【優秀賞】
1年 佐竹 美空(東豊中出身)「共に生きる」 B3



【最優秀賞】
1年 君澤 桜花(台原中出身)「STOP!! 戻さないで!!」 B3



【優秀賞】
1年 三橋 ななみ(広瀬中出身)「災時のちとほはに」 B3



【入選】
1年 岡崎 玄馬(宮城野中出身)「防災意識」 B3



【入選】
1年 西條 紅葉(住吉中出身)「防災意識」 B3



【入選】
1年 佐藤 ひまり(七ヶ浜中出身)「防災意識」 B3



【入選】
1年 佐竹 洸人(雨中山中出身)「防災意識」 B3



【入選】
1年 佐竹 美空(東豊中出身)「防災意識」 B3



【入選】
1年 村山 心絆(台原中出身)「防災意識」 B3

東北生活文化大学高等学校



5 令和6年度事業の実施状況について

令和6年度事業の実施状況について

③ 初めてのスマートフォン講座「お散歩ビンゴづくり」

宮城学院女子大学生活文化デザイン学科
佐藤芳治准教授とゼミの学生による企画
の昨年度に続く講座の第2弾！

- 1回目 9月28日(土)13:00~15:00(参加者7名)
内容はスマホの使い方案内など
- 2回目 10月5日(土)13:00~15:00(参加者6名)
内容はビンゴのネタ探しまち歩き
- 3回目 10月12日(土)10:00~12:00
内容はビンゴカードづくり
- 4回目 10月26日(土)11:00~13:00
内容はお散歩ビンゴ大会
会場は全て虹の丘コミュニティセンター



令和6年度新しい地域の防災まちづくり推進プロジェクト第2弾!!

今年も初めてのスマートフォン講座を開催します
今回のテーマは「お散歩ビンゴづくり」

スマートフォンの基本的な使い方について学び、実際スマートフォンを持って、まちを歩くことで、健康増進に繋がります!!

参加者募集 (20名程度) <対象>65歳以上 虹の丘地区住民 スマホ所有者の方

スマホを使い、健康増進しませんか

無料 (スマホ持参)

<日程・場所> 主催:虹の丘連合町内会(問合せ先:岩崎副会長 tel090-4049-8778)
協力:宮城学院女子大学 生活文化デザイン学科 都市デザインゼミの学生

- ① 9月28日(土) 13:00~15:00 虹の丘コミュニティセンターホール
- ② 10月5日(土) 13:00~15:00 虹の丘コミュニティセンターホール
- ③ 10月12日(土) 10:00~12:00 虹の丘コミュニティセンター洋室
- ④ 10月26日(土) 11:00~13:00 虹の丘コミュニティセンターホール

<内容> お気軽にご参加ください!

- ① スマホの使い方、役立つアプリ紹介
参加ご希望の方は下記申込欄にご記入の上
切取って町内会長宛8月21日(水)までに
提出してください
(Wi-Fi接続、LINE登録 他)
- ② スマホの扱いに慣れた学生がサポートします。
- ③ ビンゴのネタ探しまち歩き
- ④ ビンゴカードづくり
イラスト化されたネタをもとにビンゴカードを作成します。
- ⑤ お散歩ビンゴ大会(豪華景品あります) (切り取り線)

お名前	性別	ご年齢	ご連絡先(TEL)	お持ちのスマホ(メーカー)
	男・女			
	男・女			
	男・女			

*この事業は仙台市地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業の助成を受けています

5 令和6年度事業の実施状況について

令和6年度事業の実施状況について

④ 防災訓練

日時：令和6年10月19日(土)9時50分
場所：東北生活文化大学キャンパス
対象：虹の丘団地内住民
方法：**参集訓練**(同大6号館前集合)
目的：学校法人 三島学園がキャンパスを一時退避所として協力頂いていることを**住民に周知**するため
また、東北生活文化大学が同日防災関連の講演会や試食会を開催するので**住民に参加**を呼び掛けるため

令和6年度新しい地域の防災まちづくり推進プロジェクト第3弾!!

令和6年度 虹の丘地区 
防災訓練

「普段から 散歩で確認 避難場所」
(令和5年度虹の丘防災標語・川柳最優秀賞生文高生作品)

参集訓練です
(訓練内容)
参集場所までに要した時間と町内会名及び番地名を参集場所にてチラシ持参の上お知らせください
先着60名の方に防災訓練参加グッズ差し上げます

2024年 **10月19日(土)**
午前9時50分までにこのチラシを持参の上参集ください
参集場所：東北生活文化大学6号館前
虹の丘地区の地域避難所として学校法人 三島学園よりご協力いただいたので今回実施するものです

東北生活文化大学連携企画↓
東北生活文化大学主催 (浦上食品・食文化振興財団の助成金による)
防災についての講演会 10:00 - 11:30(同大6号館大講義室)
(前半)地震の備えについて
(後半)風水害の備えについて
講師:仙台市榴岡小学校 齋藤 由美子 教諭(防災主任)
防災食の試食会 12:00 - 13:00(同大4号館前)
防災キッチンカーが来場します

上記大学の行事も防災において大事なことなのであわせて参加しましょう!!

(主催) 虹の丘連合町内会
(協力) 東北生活文化大学
お問い合わせ
Tel. 090-4049-8778
(虹の丘連合町内会 岩崎まで)

*この事業は仙台市地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業の助成を受けています

↑全戸配布チラシ

「新しい地域の防災まちづくり推進」

令和5年度実施報告及び令和6年度中間報告

報告は以上です

ご清聴ありがとうございました